



明日の青梅のために！！

青梅市議会議員

島崎 実 活動報告

No13

平成30年7月20日発行

島崎 実 事務所

〒198-0063

青梅市梅郷6-1511

TEL 0428-76-0358

E-Mail info@minoru-kai.com

- ◎ 八幡掘り（下山八幡神社脇、梅郷5・6丁目を分ける沢）の河川改修工事、第1期分が完了しました。台風等の大水でしばしば溢れだす事があったため、120cm×80cmの柵を設置し水害を防止します。



- ◎ 橋梁からの飛び込み自殺防止を目的として活動し、神代橋の欄干の嵩上げの基本方針が確定しました。橋全体の欄干を50cm嵩上げします。景観に配慮し、来春の梅祭り前の完成をめざし工事に着手します。

現況写真



現況写真



神代橋における高欄嵩上げの検討事例

イメージ図



- ◎ 梅の里再生事業は順調に進んでいます。5月14日西多摩を含む都内北部のロータリークラブ等で組織する「国際ロータリー 2580地区」から大口の寄付があり、梅の公園で記念の植樹式が行われました。基金の累積積立額は1億円を超えています。

わたしです



市長と代表者による植樹



集合写真



- ◎ 梅郷保育園跡地は地元消防団の訓練用地等として暫定利用して来ました。従来の地元管理から市の管理とし、今回防草シートを敷設しました。



6月議会報告

- 1、6月定例議会は8日、11日・12日の一般質問、13日・14日の常任委員会、15日に補正予算審査と全員協議会を行い、25日の本会議で補正予算と市長提出議案を可決終了。この間23日に、所属する福祉文教委員会で、新たな学力向上施策として開始した、サタデークラスの視察を実施しました。
- 2、全員協議会には下記の9項目が提出されました。
 - (1) 第17回姉妹都市ボッパルト市への青少年友好親善使節団派遣事業について・・・8月8日～17日。
 - (2) 「いじめゼロ宣言・子ども議会」の開催について・・・7月27日に市議会議場で、小・中学校各校2名の参加で実施予定。
 - (3) 青梅市公共施設等総合管理計画について・・・推進工程（ロードマップ）の見直しの提案ですが、様々な質疑が行われたため、7月23日に再度全員協議会を開催し質疑を実施します。
 - (4) 青梅市情報公開条例及び青梅市個人情報保護条例の改正について
 - (5) 青梅市を当事者とした訴訟事件の概況について・・・平成27年度固定資産審査委員会の行った決定を不服として取り消しを求めた事件→5月17日、原告の請求棄却（市側勝訴）
 - (6) 青梅市生物多様性地域戦略の策定について・・・「青梅 ひとと生き物 イキイキプラン」
 - (7) 「福祉施設等の配置のあり方に関する基本方針」の一部改正について
 - (8) 平成30年度における東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成の取組について・・・①スポーツの応援や体験を通じた機運醸成として、6月19日サッカーW杯のパブリックビューイング（対コロンビア戦）を市役所で開催。150名を超える参加者がありました。
 - (9) 青梅市立総合病院を当事者とした訴訟事件の概要について

【一般質問】

3、今回の一般質問では、「高齢者クラブの課題と活性化について」および「児童・生徒の通学の安全確保」の2項目について質問しました。①高齢者クラブの平成30年度の会員数は同8年度比3,484人の減少となっています。②通学路の安全確保について質問の準備中に、新潟での痛ましい事件が発生し、心の痛む思いで質問しました。

「高齢者クラブの課題と活性化」について

(私の質問)

- (1) 高齢者クラブの位置づけ、果たす役割への認識また、高齢者クラブへの参加者が減少している要因をどう捉えていますか？
- (2) 会員減少の一つの要因が補助金に関連する事務の煩雑さです。これにより、会計等役員の引き受け手がなく、クラブが休部に追い込まれる状況を市はどう認識していますか？
- (3) 高齢者クラブへの補助金について、国・都・市別に、具体的な構成を示してください。
- (4) 補助金申請に関する書類の内容および、申請書類の簡素化に関する都への要望内容および成果についてお聞きします。
- (5) 各クラブにより実態が異なることから、市高齢者クラブ連合会を通じて必要なクラブを支援するなどの対応はできないか？モデル的な会計簿の作成等は考えられないか？
- (6) 市長の目指す「高齢者が輝く青梅」実現のためにも、高齢者クラブの存在は極めて大きいと思っています。この観点から、今後の高齢者クラブ支援策を伺います。

(市長答弁)

- (1) 高齢者クラブの活動が、高齢者の健康増進や介護予防を増進しており、役割は益々重要になると認識している。加入者減少の要因は複数あるが、価値観の多様化も要因の一つと考えます。
- (2) 補助金の関係で事務が複雑になっており、役員を断る一つの理由になっていることは承知しています。このため市は補助金説明会を毎年実施する他、手引書を作成し、詳しく内容を説明しています。また内容の改善にも努めています。
- (3) クラブへは国と都から年額28,800円、都のみから年額16万円、これに市から、年額102,800円と会員数に応じた年額を補助しています。
- (4) 補助金申請の添付書類として、「年間事業計画書」他4種類、実績報告書は「活動状況報告書」他、3種類。簡略化に関しては、東京都市長会を通じて要望しているが、現時点での進展はありません。
- (5) 高齢者クラブの運営は自主・自立が原則であるが、書類作成の支援は、運営の自立とは別の観点と認識。モデル会計簿の作成を含め、事務負担の軽減に向け、連合会と連携し検討します。
- (6) 多くの高齢者が元気で暮らすことが、医療・介護の費用抑制に繋がるばかりでなく、地域のつながりの強化にも貢献します。さらなる活性化を図るため、連合会と連携、支援を継続し、「元気高齢者の輝く街青梅」を目指します。

「児童・生徒の通学の安全確保について」

(私の質問)

- (1) 過去5年間、児童・生徒の登下校時の不審者の出没等事件・事故はどの位の件数があったか？内容別に示されたい。その内、警察の絡む事件はどの位あったかお答えください。
- (2) 学校では、児童・生徒に対し、登下校時の安全確保について、どのような指導を行っているか具体的に伺います。
- (3) 通学路の防犯カメラについて伺います。今年度予算成立で小学校全校に設置されるが、各校何台か？十分な台数か？中学校は？設置場所の選択は？具体的な成果はありますか？
- (4) 「青梅子ども110番の家」について伺います。この施策はどういう目的で、いつから始めましたか？位置づけは？市内で何か所あり、どんな成果事例がありますか？
- (5) 防災行政無線による、児童下校時の安全放送について、この放送の時間設定はどうしていますか？放送は注意喚起に重要と考えますが、効果をどう捉えているか伺います。
- (6) 市は安全確保に様々な施策を講じていますが、未来ある子供たちが安心して登下校できる環境を作る責務に対する決意を伺います。

(教育長答弁)

- (1) 教育委員会へ寄せられた不審者情報は5年間で201件、声掛けが72件で最も多く、他は身体露出、付きまとい等。逮捕・補導は5年間で3件。内容は刃物所持、身体露出、つきまといです。
- (2) 不審者に遭遇した際の対応策、学校・保護者への連絡の指導。通常より遅い下校には、保護者への事前連絡や複数下校の指導等を実施中です。
- (3) 都の補助金を活用し、小学校全16校に合計80台設置します。台数については、地域エリアを考慮し検証します。中学校の意見も参考に設置場所を選定しました。カメラは犯罪抑止に効果があります。
- (4) 子どもが身の危険を感じた時に、助けを求める緊急避難場所として、平成17年から開始し、現登録件数は2,031件。3年間で不審者から子供を保護した10件を含む成果は48件あります。
- (5) 放送は一番早く帰る小学校1年生の下校時刻に合わせて放送している。毎日、定期的に放送し、協力を依頼することによって、地域の皆様で見守っていただけていると期待しています。
- (6) 様々な施策を実施して来たが、今後とも、教育委員会が中心となり、安全教育の徹底等、安全確保の施策をさらに強化実施してまいります。